

募 集 要 項

氏 名：李 樹萱（り じゅけん）	研究室：未定
専 攻 分 野：イノベーション、経営戦略	
演習テーマ：人とイノベーション	E-mail：shuxuan.li.research@gmail.com

【ゼミの概要】

2025 年度に新たに開講されるこの演習では、皆さんが 1 期生として参加することになります。新しいことに積極的にチャレンジし、共に演習の形を作り上げていきたい方を歓迎します。

本演習では、「人とイノベーション」というテーマを中心に据え、論理的な思考力と実践的なスキルのバランスを重視する学びを提供します。イノベーションは、個人、組織、社会といった多様な要素が複雑に絡み合う現象です。この中で、イノベーションの「原点」となる人がどのような役割を担い、どのようなメカニズムを通じてイノベーションを創出するのかを、経営戦略、組織論、イノベーション理論を基に探求していきます。

理論的知識の習得に加えて、データの収集・分析およびその結果の適切な解釈といった実践的な能力も身につけていきます。これに伴い、定性的および定量的な分析の基本的知識を学び、統計ソフトの使い方も習得していきます。

さらに、卒業後にも役立つスキルとして、他者との協働によるグループワーク能力や、自分の考えや意見を論理的に伝えるプレゼンテーション能力の向上を図ります。

＜演習 1＞および＜演習 2＞

活動内容：

演習 1 および 2 では、基礎的な理論知識の習得を中心に据えています。具体的には、テキスト輪読と事例分析を通じて、イノベーションの過程において「人」がどのような役割を果たしているのかを解明していきます。

理論知識を学ぶ中で、以下の能力も並行して養成していきます。

○ レポートの書き方

輪読したテキストの内容を基に、自分の理解や視点を織り交ぜながら、論理的な文章の書き方を学びます。このスキルは、レポートや卒業論文のみならず、就職活動の際に必要な書類作成にも役立ちます。

○ 問いを立てる能力

他人が取り上げた観点や日常の事象を「当たり前」と捉えるのではなく、その背後にある理由や要因を探究することが重要です。これを実現するためには、「なぜ」という問いを粘り強く繰り返し、自ら考察を深めていくことが求められます。

主なテキスト：

輪読対象となるテキストの例は、以下の通りです。ただし、より適した書籍が見つかった場合は、変更する可能性があります。

○『経営学入門（はじめての経営学）』、東洋経済新報社、青島矢一・榊原清則著

○『イノベーション』、有斐閣、清水洋著

○『イノベーターのためのサイエンスとテクノロジーの経営学』、東洋経済新報社、牧兼充著

＜演習 3＞および＜演習 4＞

活動内容：

演習 3 および 4 では、これまでに学んできた理論知識をもとに、実践的な能力を身につ

けることを目的としています。具体的には、以下の項目に取り組みます。

○ 仮説を立てる能力

演習 1 および 2 で学んだ内容を活かし、自分が設定した問いに答えるための仮説を立てる能力を養成します。これまでに学んだ理論を使い、現象をどのように説明できるかを常に考えることで、物事の背後にあるメカニズムの解明に役立てます。

○ 仮説を検証する能力

仮説を立てるだけでなく、その仮説が正しいかどうかを証明する能力を身につけます。ここでは、社会科学の分野でよく使われる分析手法を学び、卒業論文完成に向けた基礎を固めます。

主なテキスト

輪読対象となるテキストの例は、以下の通りです。ただし、より適した書籍が見つかった場合は、変更する可能性があります。また、学生の関心や希望、進捗状況に応じて柔軟に対応する予定です。

○ 『社会調査の考え方 上・下』、東京大学出版会、佐藤郁哉著

○ 『Python による経済・経営分析のためのデータサイエンス～分析の基礎から因果推論まで』、東京図書、原泰史著

<演習 5・6>

活動内容

演習 1 から 4 で学んだ内容を基に、卒業論文の完成を目指します。以下の作業内容や検討事項を含みます。

○ 興味深い「問い」の探索とアプローチの実行

自身が興味を持つ「問い」を見つけ、それに答えるための適切なアプローチを検討し、実行します。

○ 問いの意義の説明と既存研究の調査

「なぜこの問いに答える必要があるのか」を他者に伝えるため、問いの面白さや意義を、既存研究を丁寧に調査しながら説明します。

教員からの要望

本演習では、物事に対して自分なりの見解を持ち、能動的に情報を調べ、知識を学び、それを論理的に伝える能力を養成したい人を求めています。そのため、演習の中では、事前に学習した内容や調査した情報を基に、主体的かつ積極的なディスカッションを行っていただきます。また、新規開講の演習であることから、「ゼロ」から物事を築き上げたいという意欲を持つ方も大歓迎です。

既に述べたように、本演習は理論的知識と実践的能力の両方の習得を目指しています。そのため、課題や活動は軽いものではなく、ゼミの時間以外でも必要に応じて積極的に学習に取り組むことが求められます。

履修希望科目

経営戦略論、イノベーション概論等の関連科目を履修しておくことが望ましいです。

教員の自己紹介

中国湖北省出身です。「赤壁の戦い」の舞台として知られる地域です。現在は、企業間の共同研究や人の移動に関する研究を行っています。スポーツは苦手で嫌いですが、e スポーツは好きです。仕事である研究と趣味である e スポーツを両立させるために、e スポーツに関する研究を模索中です。趣味を仕事にすることで、充実感を得てストレスなく働けるのか、それとも趣味を純粋に楽しめなくなって逆にストレスが溜まるのか、どちらの仮説が自分にとって正しいのかも並行して探索中です。